

# 高校の卒業礼拝式

2月28日（土）9:30より、遺愛アリーナで遺愛女子高校卒業礼拝式が挙行政され、209名が遺愛を巣立っていきました。土曜日でもあり、たくさんの保護者、来賓の方々がお見えになり、卒業生の門出を祝福して下さいました。心から感謝します。

式辞では、3年生の学年団の先生方の高3生に対する印象を紹介させていただきました。…体調を崩している友人、教員、家族のことを気かけ、優しい気配り、言葉掛けができる。人の言葉に耳を傾け、きちんと受けとめることができる学年でした。全体的に見て、とても優しい人達だと思います。思いやりの心、人のことを考えられる温かい心が育っていると感じました。いろいろな場面で生徒の皆さんからあたたかい気持ちをもって励みになりました…など、お褒めの言葉がたくさんありました。

卒業生代表の吉野朱莉さんの答辞に「遺愛には、たくさんの祈りがあります。風邪をひいて学校に来られなかった友人のため、大会に出ている遺愛生のため、そんなふうに、近くにいなくても、お互いを思いあって祈ります。私たちは、このような祈りのなかで、常に守られ育まれながら、学校生活を送ることができました。」という言葉がありました。卒業生の優しさ、思いやりの心、温かい心は日々の礼拝での祈りによって培われてきたのでしょうか。

今年の卒業生アンケートでは、遺愛で行われる「毎朝の礼拝」に対する評価が高かったのが特徴的です。「礼拝がとても良かった・良かった」と感じていた卒業生が82.7%もいました。（2010～2014年の平均は61.2%、2005～2009年の平均は54.7%でした。）「オルガンと讃美歌で自然と心が落ち着きます」「心が清くなる」「心に残るお話しが聞ける」などの感想が多く寄せられました。また、クリスマス礼拝や修養会に対する評価も高いのがこの学年の特徴でした。



ホールに飾られているお雛様

2015年2月28日（土）